生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	低用量アスピリン・ヘパリン併用療法を施行した 191 症例の周産期予後		
1. 研究の目的と方法	本研究は、流・死産を繰り返す患者さんに対して低用量アスピリン・ヘパリン併用療法を行うことで、出産に際して母体および新生児にどのような有効性があったかを調査することを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関：■附属病院　□葛飾医療センター　□第三病院　□柏病院 対象となる方：平成 22 年 1 月から平成 26 年 12 月までに低用量アスピリン･ヘパリン併用療法を施行された妊婦さんを対象としています。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	母体年齢、検査結果（血液、超音波）、分娩週数，出生体重，臍帯動脈血 pH，胎盤重量，死産発生率，新生児仮死発生率，妊娠中の基礎疾患の合併率・妊娠高血圧症候群発症率・子宮内胎児発育遅延発症率	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　産婦人科学講座
		氏名	忽滑谷　暁紀
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2016 年 1 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　産婦人科学講座 研究責任者：忽滑谷　暁紀（ぬかりや　あきのり） 電話番号：03-3433-1111　（内線：2938） 対応時間：平日 10：00　～　16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。